

令和3年度 老人保健健康増進等事業 採択事業

事業名	事業概要
北海道の地域住民に関する医療・介護情報の共有システム構築に係る調査研究事業	<p>地域包括ケアシステムは、地域の住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的に提供される体制だが、その対象は地域住民であり、関係する機関や職種は多岐にわたる。</p> <p>そのため、医療と介護においては、同じ対象者に関しても、医師と介護支援専門員では必要とする情報が異なることもある。特に、医師の緊急的な判断が求められるなど迅速な情報のやり取りが必要な場合など、情報の共有や多職種間の相互の理解が十分にできず、連携が難しいという課題もある。地域の関係機関や関連職種が医療・介護における連携を進めるためには、サービス利用者の情報に係る可及的迅速かつ効率的・効果的な共有に関する仕組が重要となる。</p> <p>特に、北海道は全国を上回るスピードで人口減少が進み、かつて経験したことがない超高齢化社会を迎え、医療・介護の人材確保は困難な状況が続いている。こうしたことから、地域包括ケアシステムの推進にあたっては ICT の活用等によって情報共有における伝達内容の正確性や時間的コスト・汎用性の面での効率化が求められる。</p> <p>そこで、本調査研究は、在宅医療・介護連携推進事業の一環として医療・介護関係者の情報共有の支援を目的とし、北海道内における情報システムの導入・活用例の実態を把握するとともに、その調査の過程から今後活用が期待される汎用性の高い情報システムの要件とその活用方法とを整理し、報告書として取りまとめる。</p>